

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【教育総務課】</p> <p>高等学校建設費</p>	<p>2,258,286 (2,318,111)</p> <p>起 1,742,500</p> <p>⊖ 515,786</p>	<p>1 施設改修費 259,789</p> <p>学校施設の適切な維持のため、施設改修等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計、工事 5校           <ul style="list-style-type: none"> <li>屋根・外壁改修 八日市、能登川</li> <li>屋根改修 草津</li> <li>屋外階段改修 虎姫</li> <li>防火シャッター改修 八幡</li> </ul> </li> <li>・工事 1校           <ul style="list-style-type: none"> <li>ウエイトリフティング場改築 安曇川</li> </ul> </li> <li>・修繕工事 1校</li> </ul> <p>長 2 長寿命化等推進事業 878,289</p> <p>施設の長寿命化や老朽化対策のため、施設改修を行う。</p> <p>(1) 予防保全工事 575,463</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計、工事 2校           <ul style="list-style-type: none"> <li>外壁改修 大津</li> <li>通信設備・防災通信設備更新 水口東</li> </ul> </li> <li>・工事 8校           <ul style="list-style-type: none"> <li>屋根・外壁改修 北大津、河瀬、彦根翔西館、八幡、八幡商業、栗東、虎姫、安曇川</li> </ul> </li> <li>・設計 1校           <ul style="list-style-type: none"> <li>屋根・外壁改修 八幡</li> </ul> </li> <li>・修繕工事 7校</li> </ul>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(高等学校建設費)		(2) 更新・改修工事 302,826 ・工事 2校 [ 屋根・外壁改修等 八幡商業、安曇川 ] ・設計 1校 [ 屋根・外壁改修等 八幡工業 ] ・修繕工事 2校
		3 県立学校空調設備整備事業 429,345  空調設備整備にかかるリース料等を負担する。
		4 県立学校LED照明整備事業 22,787  県立高等学校において、リース方式によりLED照明を整備する。
		5 県立学校トイレ整備事業 668,076  学校施設の学習環境の改善を図り、安全安心な教育環境の確保のため、必要なトイレ整備を行う。 ・工事 5校 [ 大津商業、八幡工業、八日市、野洲、高島 ] ・設計 5校 [ 長浜農業、草津東、甲西、愛知、大津清陵 ]

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
特別支援学校建設費	648,655 (530,219)  国 91,615  繰 60,187  起 394,600  ⊖ 102,253	1 施設改修費 113,089  学校施設の適切な維持のため、施設改修等を行う。 ・設計、工事 2校 [ 屋根・外壁改修 長浜養護 エレベーター改修 三雲養護 ]  ・工事 1校 [ 会議室改修等 盲学校 ]  ・設計 1校 [ 外壁改修 北大津養護 ]  長 2 長寿命化等推進事業 78,214  施設の長寿命化や老朽化対策のため、施設改修を行う。 (1) 予防保全工事 71,974 ・工事 1校 [ 屋根・外壁改修 草津養護 ]  ・設計 2校 [ 屋根・外壁改修 鳥居本養護 屋根改修 八日市養護 ]  ・修繕工事 7校  (2) 更新・改修工事 6,240 ・設計 1校 [ 屋根・外壁改修 盲学校 ]

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(特別支援学校建設費)		<p>3 県立学校LED照明整備事業 5,542</p>
		<p>県立特別支援学校において、リース方式によりLED照明を整備する。</p>
		<p>4 県立学校トイレ整備事業 18,120</p> <p>学校施設の学習環境の改善を図り、安全安心な教育環境の確保のため、必要なトイレ整備を行う。</p>
		<p>・設計 4校  <span style="font-size: 2em;">[</span> 鳥居本養護、三雲養護、甲良養護、愛知高等養護 <span style="font-size: 2em;">]</span></p>
		<p>5 県立養護学校増築事業 384,921</p> <p>児童生徒数増加に伴う教室不足解消のため、草津養護学校の校舎増築を行う。</p> <p>・工事 1校(草津養護)</p> <p><span style="font-size: 2em;">[</span> [債務負担行為]          期間：令和5年度          限度額：208,783千円 <span style="font-size: 2em;">]</span></p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明																						
市町教育委員会連絡調整費	30,000 (30,000) ⊖ 30,000	1 地域教育力向上支援事業 30,000  町教育委員会が、地域の特性を生かした特色ある教育または地域特有の教育課題の解決に向けた取り組みを実施するため必要な経費の一部を補助する。																						
情報教育推進費	331,227 (370,273) 国 19,180 ⊖ 312,047	1 県立学校ICT環境整備事業 311,730  県立学校の教育のICT化を進めるため、ICT機器の整備や支援人材の配置、校内ネットワークの保守運用等を行う。																						
高等学校奨学資金貸付事業費	424,893 (486,175) 国 103,605 諸 111,348 ⊖ 209,940	1 奨学資金貸付金 112,811  経済的理由により高等学校等への修学が困難な者に対して奨学資金を貸与し、有為な人材を育成する。  <table border="1" data-bbox="742 1310 1372 1668"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>自宅通学者</th> <th>自宅外通学者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">奨学金 (月額)</td> <td>国公立</td> <td>18,000円</td> <td>23,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000円</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入学資金 (一時金)</td> <td>国公立</td> <td colspan="2">50,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td colspan="2">50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり</td> </tr> <tr> <td colspan="2">端末購入資金</td> <td colspan="2">上限150,000円</td> </tr> </tbody> </table> 2 奨学のための給付金 312,082  低所得世帯の国公立高等学校等の生徒に対して、教育費負担を軽減するため一定額を給付する。			自宅通学者	自宅外通学者	奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円	私立	30,000円	35,000円	入学資金 (一時金)	国公立	50,000円		私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり		端末購入資金		上限150,000円	
		自宅通学者	自宅外通学者																					
奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円																					
	私立	30,000円	35,000円																					
入学資金 (一時金)	国公立	50,000円																						
	私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり																						
端末購入資金		上限150,000円																						

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【教職員課】</p> <p>人事管理費</p>	<p>226,732 (166,648)</p> <p>国 41,094</p> <p>使 20</p> <p>⊖ 185,618</p>	<p>教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、教職員と子どもの笑顔を増やすために、学校における働き方改革の推進に向けた取組を実施するとともに、優秀で多様な人材の確保に向けて、滋賀で教師をする魅力などを多様な媒体を活用し広く発信する。</p> <p>感1 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）配置支援事業 147,168</p> <p>教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、一般事務作業等に従事する教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）を配置する市町を支援する。</p> <p>2 県立学校統合型校務支援システム構築業務 40,766</p> <p>県立学校において、校務の効率化による働き方改革の推進を図るため、統合型校務支援システムを構築し、運用する。</p> <p>新重3 教職の魅力発信事業 3,800</p> <p>これからの滋賀の教育を担う優秀で多様な人材の確保に向けて、滋賀で教師をする魅力や教職そのものの魅力を効果的に発信する。</p> <p>新4 県立高校における業務改善加速化事業 9,900</p> <p>県立高等学校にテストの採点・集計システムを導入することにより、採点等に要していた時間を削減し、子どもと向き合う時間や教職員の資質能力向上のための時間の確保につなげる。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
教職員給与費	111,788,426 (114,025,846)  国 19,416,130  使 3,393,106  諸 9,141  ⊖ 88,970,049	<p>児童生徒一人ひとりの個性や能力に応じたきめ細かな指導による、基礎・基本の確実な定着と学力の向上、いじめ等の生徒指導課題への対応に向けた体制づくりを行うとともに、教職員の児童生徒と向き合う時間の確保による学びの保障のため、学校の人的体制を整備する。</p> <p>1 少人数学級編制の実施</p> <p>子どもたちの学ぶ環境の確立、学習意欲の向上を図り、確かな学力の向上につなげるため、小学4年生以上のすべての学年で35人学級編制を可能とする現行の制度を維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 教員 153人</li> <li>・中学校 教員 160人</li> </ul> <p>2 小学校専科指導の推進</p> <p>専門性を活かした授業の展開により、義務教育9年間を見通した教科指導を推進するため、小学校に英語専科教員および高学年における専科指導教員を配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語専科教員の配置 57人（うち12人は非常勤）</li> <li>・専科指導教員の配置 65人（うち20人は非常勤）</li> </ul> <p>3 学校運営を支援する人員の配置</p> <p>教員の負担を軽減することにより、児童生徒と向き合う時間を確保し、学びの保障を図るため、学校運営を支援する人員を配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置（県立学校）78人</li> </ul>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明				
(教職員給与費)		教職員定数 <span style="float: right;">単位：人</span>				
			4年度(A)	3年度(B)	増減(A-B)	
		小 学 校	校長教諭等	4,910	4,868	42
			養護教諭	234	236	△2
			栄養教諭・ 栄養職員	53	53	0
			事務職員	263	260	3
			小計	5,460	5,417	43
		中 学 校	校長教諭等	2,807	2,809	△2
			養護教諭	110	109	1
			栄養教諭・ 栄養職員	20	17	3
			事務職員	126	128	△2
			小計	3,063	3,063	0
		高 等 学 校	校長教諭等	2,019	2,031	△12
			養護教諭	57	57	0
			実習助手	107	107	0
			事務職員	148	148	0
			司書	35	35	0
			栄養職員	2	2	0
			技能労務職員	61	66	△5
			小計	2,429	2,446	△17
		特 別 支 援 学 校	校長教諭等	1,126	1,101	25
			養護教諭	18	18	0
			栄養教諭・ 栄養職員	10	9	1
			実習助手	32	32	0
			寄宿舎指導員	36	36	0
事務職員	48		48	0		
技能労務職員	9		12	△3		
小計	1,279		1,256	23		
合 計		12,231	12,182	49		



事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【高校教育課】</p> <p>教育行政企画調整費</p>	<p>8,367 (8,570)</p> <p>⊖ 8,367</p>	<p>1 湖西地域県立高等学校魅力化推進事業 4,785</p> <p>「湖西地域県立高等学校魅力化方針」に基づいて、学科改編等の魅力化に必要となる備品の購入や教室の整備を実施し、湖西地域の県立高等学校の魅力化を推進する。</p> <p>② 県立高等学校魅力化推進事業 2,262</p> <p>生徒数減少や社会情勢の変化の中、育成すべき生徒像として「生きる力（自立する力、伝える力、協働する力、創造する力等）」を生徒が身に付けられる県立高等学校の土台づくりに向け、地域連携および学校間連携をモデル的に実施するほか、各校の魅力発信の強化を図るなど、県立高等学校の魅力化を推進する。</p>
<p>国際教育推進費</p>	<p>93,006 (43,053)</p> <p>国 11,702</p> <p>諸 375</p> <p>⊖ 80,929</p>	<p>① WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業 12,566</p> <p>高等学校と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、大学レベルの教育の先取り履修や、オンラインを活用して、研究テーマを通じた高校生国際会議の開催等、高校生へ「高度な学び（アドバンスト・ラーニング）」を提供する仕組の構築や実践を通じて、将来、世界で活躍できるイノベーティブなグローバル人材を育成する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
職員費	<p>113,744 (153,546)</p> <p>国 1,586</p> <p>諸 3,576</p> <p>⊖ 108,582</p>	<p>1 部活動指導員配置促進事業 5,341</p> <p>部活動指導員の専門的な指導により、生徒の意欲や技能の向上を図るとともに、部活動指導における教員の働き方改革を推進するため、県立高等学校の文化部において部活動指導員の配置を進める。</p> <p>感 2 県立高校就職支援事業 74,969</p> <p>高校生の進路実現に向けた支援や教員の負担軽減を行うため、就職支援員を配置する。</p> <p>新 重 3 WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業 1,586</p> <p>高等学校と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、大学レベルの教育の先取り履修や、オンラインを活用して、研究テーマを通じた高校生国際会議の開催等、高校生へ「高度な学び（アドバンスト・ラーニング）」を提供する仕組の構築や実践を通じて、将来、世界で活躍できるイノベーティブなグローバル人材を育成する。</p>
高等学校教育振興費	<p>143,435 (125,547)</p> <p>国 12,967</p> <p>繰 1,500</p> <p>⊖ 128,968</p>	<p>重 1 未来の担い手を育むキャリア形成支援事業 6,699</p> <p>キャリアプランニングを基礎として、課題解決実習、インターンシップ、起業家精神教育（アントレプレナーシップ）を実施し、基礎的・汎用的能力の育成を図る。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(高等学校教育振興費)		<p><b>重</b>2 高等学校産業人材育成プロジェクト事業 7,404</p>
		<p>職業教育を主とする専門学科（農業3校、工業3校、商業2校）、総合学科4校を指定校とし、産業界との連携を進めることで、変化の激しい社会に柔軟かつ力強く対応できる滋賀の産業を支える職業人の育成を図る。</p>
		<p><b>新</b>3 「読み解く力」をもとにした一人ひとりの学び最適化プロジェクト 2,642</p>
		<p>生徒一人ひとりに焦点を当て、学びを継続的に把握し、端末等も活用しながら、読み解く力の向上を図り、その力をもとに様々な課題を自分なりに解決し、知識を再構築することにより主体的で深い学びができるよう一人ひとりに適した指導を行う取組を推進する。</p>
		<p><b>重</b>4 高等学校における地域との連携による主権者教育の充実 617</p> <p>生徒の社会参画への意識を高めるため、自治体などと協力し、フィールドワークなどの地域調査を行い、地域の抱える諸課題等について自治体に具体的な提案を行えるよう実践的な授業の研究を行う。</p>
<p><b>重</b>5 マイスター・ハイスクール事業 9,864</p> <p>職業教育を主とする学科を置く高等学校等と成長産業化に向けた革新を図る産業界、地方公共団体が一体となって最先端の職業人材育成システムを構築する。そのために、その中核となる専門高校等をマイスター・ハイスクールに指定し、高校改革を推進する。</p>		

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【総合教育センター】</p> <p>講習会費</p>	<p>2,029 (2,075)</p> <p>⊖ 2,029</p>	<p>1 指導力向上研修 1,401</p> <p>「読み解く力」の育成に重点を置いた教科指導力の向上や、新学習指導要領に即し、授業改善に対応した教科指導力向上のための研修を行う。</p>
<p>研究調査費</p>	<p>3,386 (3,388)</p> <p>⊖ 3,386</p>	<p>1 研究普及活動費 1,358</p> <p>県内各学校や市町教育委員会における研究・研修会への指導援助や講師派遣および全国、近畿各地域の研修および研究の状況把握を行う。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【幼小中教育課】</p> <p>職員費</p>	<p>239,742 (240,349)</p> <p>国 74,412</p> <p>⊖ 165,330</p>	<p>感1 スクールカウンセラー等活用事業 157,634</p> <p>いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応の促進を目的とするスクールカウンセラーの配置を、コロナ禍で困難な状況にある子どもたちを支援するために拡充して実施する。</p> <p>感2 スクールソーシャルワーカー活用事業 47,044</p> <p>いじめや不登校等の課題に対応するとともに、教職員への福祉的な視点の定着を目的とするスクールソーシャルワーカーの配置を、コロナ禍で困難な状況にある子どもたちを支援するために拡充して実施する。</p> <p>新重3 教育と福祉の連携による不登校対応支援体制整備事業 868</p> <p>不登校等学校不適應の課題に対して学識経験者、教育関係者等が不登校の背景や本県の取組を研究・検証し、効果的な対策をまとめるとともに、その成果を校内研修等で教職員に周知し、実践につなげる。</p> <p>4 外国人児童生徒いきいきサポート支援事業 10,600</p> <p>日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在籍する県内の公立小・中学校に母語が話せる支援員を県で雇用し、教育相談や保護者との面談、学習支援等について学校を訪問して行うことにより、学校生活への適応や効果的な指導の充実を図る。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
教科等指導対策費	<p>88,623 (18,343)</p> <p>国 39,486</p> <p>繰 363</p> <p>諸 32,191</p> <p>⊖ 16,583</p>	<p>重1 「読み解く力」検証・改善プロジェクト 4,200</p> <p>子どもたちが「読み解く力」を高め、発揮できるよう、県内全ての教員の指導力向上のため、リーダー研修や学校訪問等を行い、各校における「読み解く力」の視点を踏まえた授業改善や校内研究の活性化を図る。</p> <p>新重2 一人ひとりの学び最適化プロジェクト 10,527</p> <p>子ども一人ひとりの「学びの伸び」を客観的に経年で把握できる調査を活用し、各学校における「学ぶ力」向上の取組を支援する。またGIGAスクール端末を活用し、この調査をCBT（コンピューター・ベースト・テスト）で行うことにも取り組む。</p> <p>3 GIGAスクール運営支援センター整備事業 64,000</p> <p>1人1台端末環境による本格的な教育活動が各市町で展開される中で、その円滑な運用を支えるために、「GIGAスクール運営支援センター」により、広域的にICT運用支援を行う。</p>
国際教育推進費	<p>11,132 (11,748)</p> <p>国 5,225</p> <p>⊖ 5,907</p>	<p>新重1 外国人児童生徒等一人ひとりの学び支援事業 2,515</p> <p>県内の多地域において多言語化している外国人児童生徒等に対して、GIGAスクール端末等のICTも活用しながら母語支援、適応指導および日本語指導等を充実させ、一人ひとりの学びを保障する。</p> <p>2 多様な学び確保推進事業 501</p> <p>多様な学びの在り方についての検討会議からの報告を踏まえ、本県における多様な学びの実現に向けて、関係機関等と調整しながら検討や準備を進める。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【びわ湖フローティングスクール】</p> <p>活動費</p>	<p>176,609 (47,765)</p> <p>諸 3,620</p> <p>⊖ 172,989</p>	<p>学習船「うみのこ」による児童学習航海（1泊2日）102航海、特別航海（1日）4航海を実施する。</p> <p>1 教育活動費 4,650</p> <p>学習船「うみのこ」による児童学習航海の教育効果を高めるため、教材教具の整備、研究・研修等を実施する。</p> <p>2 親子体験航海費 1,200</p> <p>学習船「うみのこ」による親子体験航海（1日）3航海を実施する。</p> <p>感3 学習船「うみのこ」新型コロナウイルス感染防止対策事業 7,835</p> <p>安心安全な航海実施のため、船内の消毒を実施する。</p> <p>新感4 学習船「うみのこ」PCR検査実施事業 128,495</p> <p>安心安全な航海実施のため、乗船児童等へのPCR検査を実施する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【特別支援教育課】</p> <p>職員費</p>	<p>14,049 (27,980)</p> <p>⊖ 14,049</p>	<p>1 高等学校特別支援教育推進事業 13,161</p> <p>高等学校において、障害のある生徒への支援を行うスタッフを配置することにより、障害のある生徒を支える体制を構築するとともに、高等学校特別支援教育巡回指導員を派遣し、高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への指導力の向上を図る。</p>
<p>特別支援教育振興費</p>	<p>56,432 (55,690)</p> <p>国 1,882</p> <p>⊖ 54,550</p>	<p>障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習の困難を克服するための適切な指導と必要な支援を行う。</p> <p>1 「地域で学ぶ」支援体制強化事業 25,820</p> <p>障害のある子どもとない子どもが共に学ぶことを推進するため、「インクルーシブ教育システムの構築と新しい学校づくり」をめざした「分教室」設置の研究や副次的な学籍制度の実施、適切な就学指導の推進、小・中学校に在籍する児童生徒への支援体制の充実等に取り組む。</p> <p>①② 特別支援教育の視点に立った「個別最適な学び」推進事業 3,100</p> <p>特別支援教育の視点に立った「個別最適な学び」の実現をめざし、自分に合った学び方により主体的に学習に取り組む子どもを育成するため、PDCAサイクルによる個別の指導計画を中心に置いた教科指導の推進を図る。</p> <p>3 医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業 19,616</p> <p>通学途上で医療的ケアが必要な児童生徒の通学について、看護師が同乗する車両で学校と自宅等の間を送迎し、医療的ケア児の通学送迎に係る保護者の負担の軽減を図る。</p>



事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
特別支援学校教職員 給与費	<p>5,186 (10,049)</p> <p>⊖ 5,186</p>	<p>1 職業的自立と社会参加をめざした職業教育充実事業 3,318</p> <p>就労アドバイザーを設置し、生徒の職場実習と就職につなげるため企業を開拓するとともに、「しがごと検定」の運営を補助するなど企業と生徒、学校をつなぐ役割を担うことで職業教育の一層の充実を図る。</p> <p>2 農福連携推進に係る就農支援モデル事業 1,868</p> <p>就農・農業教育マネージャーを設置し、生徒の農業分野での活躍の場を拡大するため、就農システムの構築および農業従事者の知見を生かした職業教育の充実等に取り組む。</p>
特別支援学校教育振 興費	<p>854,872 (832,261)</p> <p>国 172,071</p> <p>財 3,275</p> <p>諸 66</p> <p>⊖ 679,460</p>	<p>特別支援学校における教育振興のため、教科活動や職業教育など、各種事業を実施する。</p> <p>1 職業的自立と社会参加をめざした職業教育充実事業 2,708</p> <p>企業の知見を積極的に学校現場に取り込み、授業改善等を進めるとともに、「しがごと検定」の実施や「しがごと応援団」（特別支援学校の職業教育を応援する企業の登録制度）の運用、就労アドバイザーによる実習先・就職先の開拓や地域、産業界との連携等に取り組む。</p> <p><b>感</b>2 スクールバス感染症対策事業 107,590</p> <p>コロナウイルス感染リスク低減のため、特別支援学校スクールバスを増便する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【人権教育課】</p> <p>人権教育推進指導 事業費</p>	<p>13,183 (13,299)</p> <p>国 1,380</p> <p>⊖ 11,803</p>	<p>子どもをとりまく課題の解決に向けた事業や教職員を対象とした研修事業を実施することにより、学校教育における人権教育の一層の推進を図る。</p> <p>1 学びの礎ネットワーク推進事業 4,181</p> <p>学校・園・所・関係機関・家庭および地域社会が連携し、困難な状況にある子どもの自尊感情を高めることに焦点をあてた実践活動を行い、その成果を県内全域に発信する。</p> <p>2 人権教育指導力育成事業 751</p> <p>若手教員の人権感覚と指導力の向上とともに、人権尊重を根幹とした集団づくりの実践力育成を図る。また、人権教育推進の中核となるリーダーを育成するため講座を開催する。</p> <p>3 人と人が豊かにつながる学校づくり支援事業 760</p> <p>教育活動の基盤に人権教育を位置づけ、より効果的に進めるための学校支援の充実を図る。互いの多様性を認め合うとともに、人と人が豊かにつながり、誰一人とり残さない学校づくりをめざす。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【生涯学習課】</p> <p>生涯学習推進事業費</p>	<p>7,984 (7,951)</p> <p>諸 250</p> <p>⊖ 7,734</p>	<p>①② 1 「学びから始まる地域づくりプロジェクト」推進事業 630</p> <p>地域コミュニティの維持・活性化に向け、市町による図書館等の地域資源を活用した学びの成果を社会に生かす取組の支援、市町と連携した読書ボランティアの研修会を行うとともに、活力ある地域づくりやそれをコーディネートする社会教育士の情報発信を行う。</p> <p>② 2 読書バリアフリー推進事業 993</p> <p>「滋賀県読書バリアフリー計画」に基づき、気運醸成のためのフォーラム開催やリーフレットの作成、司書等研修による人材育成等、視覚障害者等の読書環境の整備を推進する。</p>
<p>子どもを育む地域・家庭教育力推進事業費</p>	<p>36,966 (36,620)</p> <p>国 17,037</p> <p>諸 400</p> <p>⊖ 19,529</p>	<p>1 家庭教育力の向上 671</p> <p>企業・事業所等家庭教育サポート講座、子育て・親育ち語り合い講座、家庭教育出前講座、家庭教育協力企業協定制度を活用した企業や団体における子育て環境づくり等により、家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>2 学校を核とした地域力強化プラン事業 34,784</p> <p>(1) 地域と学校の連携・協働体制の構築 30,511</p> <p>地域と学校の連携・協働体制を構築するために、地域における学習支援や体験活動（地域学校協働本部・土曜日の教育支援・地域未来塾・放課後子ども教室）、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進に取り組む市町の事業に対して補助を行う。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(子どもを育む地域・家庭教育力推進事業費)		<p>(2) 家庭教育支援 1,762 家庭教育に関する学習機会の提供や家庭教育支援体制の構築など家庭教育を支援する市町の事業に対して補助を行う。</p> <p>(3) コミュニティ・スクール推進事業 1,682 コミュニティ・スクールの立ち上げを支援するCSアドバイザーの派遣や研修の実施、コミュニティ・スクールの導入を推進する。</p> <p><b>重</b>3 家庭教育の基盤構築を支援する地域の人材育成事業 1,393  地域住民等で構成される家庭教育支援チームが不安や悩みを抱える家庭を訪問し、相談対応や専門機関への橋渡しなどを行う「訪問型家庭教育支援」について、市町のモデル的な取組を支援する。また、家庭教育支援についての研修会や交流会の実施および人材を育成・確保するための専門的な講座を実施し、ネットワークの拡大や支援体制の構築・県域への普及を図る。</p>
子ども読書活動推進事業費	<p>1,382 (1,821)</p> <p>諸 50</p> <p>⊖ 1,332</p>	<p>1 子ども読書活動推進事業 1,382</p> <p>「第4次滋賀県子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書に関する啓発や講座の開催、子ども自らがおすすめする本の募集等により、子どもの読書活動を推進していく。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【県立図書館】</p> <p>管理運営費</p>	<p>99,015 (48,156)</p> <p>使 1,006</p> <p>諸 1,728</p> <p>起 46,000</p> <p>⊖ 50,281</p>	<p>① 1 図書館コンピュータシステムDX推進事業 9,479</p> <p>コンピュータシステムを刷新することで、インターネットを通じた図書館の情報資源へのアクセシビリティを向上させ、県民が図書館の持つ資料や情報の利活用をしやすくなる環境を整備する。</p> <p>【債務負担行為】 期間：令和5年度から令和9年度まで 限度額：180,087千円</p>
<p>図書資料整備費</p>	<p>62,578 (62,500)</p> <p>繰 800</p> <p>⊖ 61,778</p>	<p>図書資料の収集・整備に努め、県民の資料情報センターとしての役割を果たしていく。</p> <p>① 1 読書バリアフリーのための資料整備事業 637</p> <p>一般的な活字の図書を読むことが難しい人に向けた資料の整備を行い、読書活動を支援する。</p> <p>① ② 2 滋賀で働く人を応援する資料整備事業 1,292</p> <p>県内で働く人々が仕事の上で必要とする図書を整備し、多様で柔軟な新しい働き方を応援する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(図書資料整備費)		<p>③ 外国にルーツを持つ人々への情報提供サービス推進事業 2,000</p> <p>多言語による生活や仕事に役立つ資料を県立図書館に整備し全県的に提供することで、外国にルーツを持つ人々が滋賀に住み続け、地域社会で活躍できるよう支援する。</p> <p>4 図書資料等購入事業 56,846</p> <p>県全体の利用を考慮した資料整備を行い、公共図書館等のネットワークを通じて全县民に提供する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【保健体育課】</p> <p>職員費</p>	<p>17,380 (13,859)</p> <p>国 224</p> <p>⊖ 17,156</p>	<p>1 部活動指導員配置促進事業 14,497</p> <p>部活動指導員の専門的な指導による、生徒の意欲や技能の向上を図るとともに、部活動指導における教員の働き方改革を推進するため、県立学校における部活動指導員の配置を進める。</p>
<p>学校保健安全指導費</p>	<p>168,977 (171,410)</p> <p>国 4,883</p> <p>諸 56,651</p> <p>⊖ 107,443</p>	<p>児童生徒が健康で安全な生活を送ることができるよう、県立学校の児童生徒の健康管理や健康課題に対する指導を行うとともに、安全教育・防災教育を推進する。</p> <p>1 学校安全体制整備推進事業 4,425</p> <p>スクールガード（学校安全ボランティア）の育成をはじめ、地域ぐるみで子どもたちを見守る体制整備を推進する市町の事業に対して補助を行う。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
学校体育指導費	83,278 (69,951)	<p>児童生徒の体力向上に努めるとともに心身の健全な発達を促し、生涯にわたって運動やスポーツを主体的に実践していくための基礎を培う学校体育の充実を図る。</p>
	国 14,925	<p>1 子どもの体力向上推進事業 2,589</p>
	⊖ 68,353	<p>児童生徒が、運動やスポーツに興味関心を持って進んで取り組めるよう、教員の資質向上を目指し、小中高の各校種において実践授業研究を進める。また地域の人材を授業協力者として派遣することや、アスリート・パラアスリートとの交流事業などの取組を実施する。</p> <p>2 部活動指導員配置促進事業 14,159</p> <p>部活動指導員の専門的な指導による、生徒の意欲や技能の向上を図るとともに、部活動指導における教員の働き方改革を推進するため、部活動指導員の配置を進める市町に対し補助を行う。</p>